

洞爺湖町 議会だより

No.71

令和5年12月会議
令和6年1月会議

2024.2

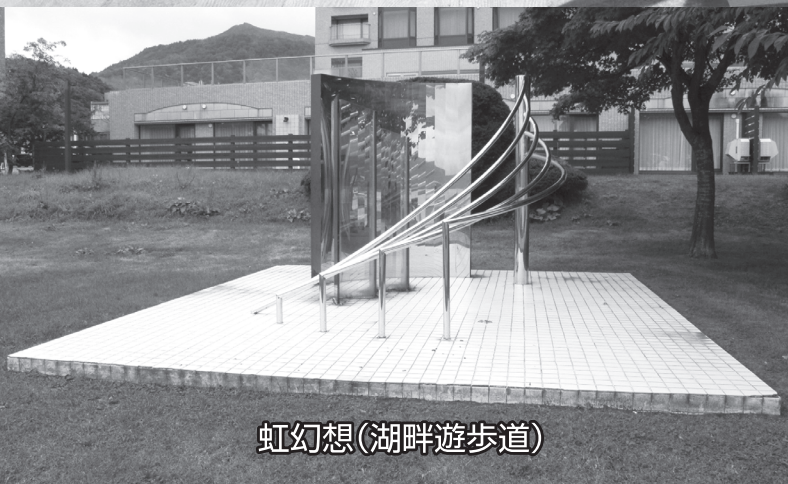


SKY—交差する気(湖畔遊歩道)

とうや湖ぐるっと彫刻公園



太陽の賛歌(湖畔遊歩道)



虹幻想(湖畔遊歩道)

主な内容

- | | |
|--------|----------------------------|
| P 2 | 令和5年12月会議
令和6年1月会議 審議内容 |
| P 3～12 | 一般質問10名登壇 |
| P13 | 常任委員会レポート |
| P14 | 議会の動き・編集後記 |

令和5年 12月会議

12月会議が12月11日から13日まで開会し、町長から提出の条例改正6件、規約の変更2件、補正予算7件を原案どおり可決しました。また、議員提案の意見書1件、決議案1件を否決しました。なお、10人の議員が一般質問を行いました。

「主な議案の審議内容」

条例改正

- 洞爺湖町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- 洞爺湖町特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正
- 洞爺湖町職員の給与に関する条例の一部改正
- 洞爺湖町会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部改正

特別職や議員の期末手当の改定及び職員等の給料や

職員手当の改定などに伴う条例の改正。

○洞爺湖町国民健康保険条例の一部改正

納税義務者又はその世帯に属する被保険者が出産する予定又は出産した場合に保険税を減額するもの。また、課税限度額を2万円引き上げ104万円とする所要の改正。

○洞爺湖町いこいの家条例等の一部改正

洞爺いこいの家及び一般入浴事業における入浴料金等の改定。

洞爺いこいの家
大人480円↓490円
小人140円↓150円
幼児70円↓80円
令和6年4月1日から

規約の変更

○西胆振介護認定審査会共同設置規約の一部変更

○西胆振障害者自立支援審査会共同設置規約の一部変更

洞爺湖町・豊浦町・壮瞥町の3町で共同設置している審査会執務場所等の変更

補正予算

○一般会計

- ・歳入歳出をそれぞれ2億9408万円増額。
- ・住民税非課税世帯臨時給付金事業 1億3947万円
- ・プレミアム付飲食券発行事業補助金 900万円
- ・貨物自動車運送事業者燃油高騰対策支援金 326万円

- ・農業用燃油高騰対策支援金 583万円
- ・畜産農業者飼料高騰対策支援金 591万円
- ・洞爺湖町漁業用資材価格高騰対策支援金 450万円
- ・漁業用燃油高騰対策支援金 408万円
- ・公共交通事業者特別支援金 260万円
- ・介護・障害者福祉事業所特別支援金 250万円
- ・予備費 5207万円

○国民健康保険特別会計

歳入歳出をそれぞれ15万円増額。

○介護保険特別会計

歳入歳出をそれぞれ153万円減額。

○後期高齢者医療特別会計

歳入歳出をそれぞれ216万円増額。

○水道事業会計

収益的支出のみの補正で増減額なし

○簡易水道事業会計

収益的支出のみの補正で増減額なし

○公共下水道事業会計

収益的支出の補正は増減額なし

資本的収入で受益者分担金1万円の増、資本的支出で工事請負費260万円を増額

意見書・決議

○刑事訴訟法の再審規定の速やかな改正を求める意見書（案）

―否決―

○パレスチナとイスラエルの市民を狙ったすべての暴力行為を非難し、即時に人道的休戦を求める決議（案）

―否決―

令和6年 1月会議

1月会議が1月19日に開会し、町長から提出の議案3件を原案どおり可決しました。

「主な議案の審議内容」

条例改正

○洞爺湖町手数料条例の一部改正

戸籍法の一部改正に伴う所要の改正。

○洞爺湖町霊園条例の一部改正

洞爺湖町合葬墓整備に伴う所要の改正。

補正予算

○一般会計

歳入歳出をそれぞれ4047万円の増額。

・低所得世帯支援給付金事業（均等割のみ課税給付及び子供加算）



子どもから高齢者まで安心して 住み続けられる町づくりについて

大 屋 治 (令和会)

質問 1

誇れる地域資源を活かし
安心して住み続けられる
町づくりについて

問 観光客の入込数、宿泊者数、今後の旅行支援を伺う。

答 令和5年度10月末現在、宿泊客延べ人数40万5千人余り、令和元年度同対比93%強、前年同期対比143%強まで回復、インバウンドの回復も10月末現在、15万2千人強の91・7%まで回復旅行支援について洞爺湖町独自の単独キャンペーンは2024年1月15日から同年2月25日までの期間、とうや湖割を実施します。

問 入湯税の実績、見込み額は。

答 令和5年10月末現在、1億2千万円超、人数ベースではコロナ感染症以前の令和元年度数値に近づきます。

問 ホテル等の入浴助成実績と高齢者の入浴に対する週2回程度のバス手配は。

答 令和5年10月末現在、一般入浴事業は5千619人、高齢者入浴助成事業は延べ1万6133人、入浴施設送迎の専用バスの運行は困難です。

問 地域公共交通について伺う。

答 洞爺地区の現在のコミュニティバスが令和6年度10月以降はデマンドタクシーが予約型のタクシーで運行、道南バスでの湖畔線、洞爺湖温泉から月浦経由で洞爺までの線7便は廃止、この代替えを新タクシー事業会社と現在10月以降の運行体制は協議、調整を進めています。

問 当町のGXの取り組みについて伺う。

答 森林を伐採する等の環境破壊につながる方法での再生可能エネルギーの導入は考えていません。現在再生可能エネルギー導入目標と地域温暖化対策実行計画（区域施策編）を今年度と来年度の2か年で策定するための事務を進めています。

問 太陽光発電パネルを処分する場合の取り扱い。

答 太陽光パネルを処分する場合、危険を伴うことから電気工事士やメーカー等の専門家の指示を受ける事が望ましい、環境省より太陽光発電設備の所有者向けと解体撤去業者及び廃棄物処理業者向けのリーフレットにより、発電設備を処分する際の留意点は示され、太陽光発電設備の解体、撤去、リユース、収集運搬、リサイクル、埋め立て処分は一般的には産業廃棄物の取り扱いになります。

問 公共の空き地や学校等のグラウンドでの除草剤散布は。

答 グラウンドに散布を禁止するルールは無い。公共の土地、空き地は手作業もしくは機械による除草作業を行い、除草剤を散布していません。

問 日本海溝・千島海溝沿いを震源とする巨大地震の被害想定とその周知等をどのように図るのか。

答 北海道の浸水想定設置エリアキンググループが令和3年7月に発表した最大の津波高は洞爺湖町においては7・7メートル。到達予想時間66分、浸水想定面積は1・1平方キロメートル。想定される津波の大きさや浸水想定区域を示した津波ハザードマップを作成し、各戸に配布すると共に、毎年、津波訓練を実施し、自治会等を対象とする防災講話、学校等で行う防災教育において津波ハザードマップの説明を行い、住民皆様に対しても啓発を行っている今後においても有珠山噴火災害と併せ、さらなる啓発活動に努めます。

高齢者が安心して暮らし続けることができる町づくりを！

石川 邦子



質問 1

認知症施策に対する
取り組みの現状について

問 認知症の人の数は2025年に全国で約700万人に達し、65歳以上の5人に1人が認知症になる可能性があると言われていて、当町の高齢者人口と認知症患者数の把握について伺う。

答 65歳以上の高齢者の人口は令和2年度末3573人、令和3年度末では3555人、令和4年度では3501人です。認知症の患者数の把握については、要介護認定の主治医意見書のみを確認で243人ですが、診断を受けていない方もおり、正確な数値の把握は困難な状況です。

問 本年6月に認知症基本法が閣議決定され法案が成立されました。基本法の成立を受けて認知症の正しい理解を広げていく必要があるが、当町における現状について伺う。



答 認知症の人とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう一層の支援を図るとともに、状態に応じた適切なサビスの提供をし、自治体や地域に住む方がそれぞれ責務を担い、地域共生社会を作り上げていく必要があります。

当町においては現在、認知症地域支援推進委員の配置や認知症の方を支えるサポートの育成などの取り組み、また認知症ガイドブックの作成や周知など、認知症の早期発見が治療に結びつくよう支援を進めています。

問 近年、どこの職場においても人手が足りない状況ですが、医療や介護職場においても深刻な状況です。このことについて、どのように考えているのか伺う。

近年、どこの職場においても人手が足りない状況ですが、医療や介護職場においても深刻な状況です。このことについて、どのように考えているのか伺う。

答 必要となる介護人材の確保に向けて、国や道と連携し介護者の処遇改善、新規参入やボランティア等、多様な人材の活用促進、介護の仕事の魅力の向上、職場改善に取り組んでまいりたいと考えています。

問 脳のトレーニング健康教室について、受講者の状況と認知症予防効果の検証について伺う。

答 社会福祉協議会への委託により前期12名、後期は週2回それぞれ8名で実施しています。ファイブ・コグ検査と高齢者集団用認知検査を用いて検証を行っており、開始時と終了時との比較により認知症予防効果は上がっていると認識しています。

問 受講料の月1500円は負担が大きく、認知症を予防して元気な高齢者を増やすために、受講料自己負担の支援の考えについて伺う。

答 適正な受益者負担、参加しやすい費用負担のあり方について、今後協議をしてまいります。

質問 2

入江貝塚の
駐車場整備について

問 令和6年度における縄文シテイサミットの開催地が洞爺湖町に決定したことから入江貝塚竪穴式住居の修復工事が完成したことにより、来春の来訪者が増えるのを期待しているが、一般車両の駐車場の確保が必要であり、駐車場の整備の考えを伺う。

答 天候が悪い場合や小さなお子さん連れの場合、また高齢の方など車での移動も想定されます。入江貝塚付近には町有地もあり、関係課と協議をし一般車両の駐車場スペースを確保してまいります。



入江貝塚竪穴修復（骨組作業）



教育環境の整備充実には 児童生徒のことを第一に

五十嵐 篤 雄 (有志会)

質問 1

教育に係る課題の解決に向けた取組みについて

問 来年の猛暑対策について設備面で具体的にどう考えているのか。

答 夏季における、児童生徒の熱中症予防対策の緊急処置として今年度中に、小中学校の保健室と多目的教室にクーラーを1台ずつ設置する予定です。

問 夏休み期間延長について検討されているとのことだが、結論は。

答 洞爺湖町学校管理規則で夏季と冬季休業合わせて50日の範囲でそれぞれ日数を変更できると定められています。道教委では、長期休業期間を令和6年度より年間56日以内に拡大する決定をいたしました。当町に於いても56日以内とした際の課題等について校長会に検討をいただいており、学校との調整を図り、1月中に学校管理規則を改正の上、新年度の実施を予定しています。

ています。

問 全国の小中学校の2割以上で前期・後期の2学期制をとっています。教育改革の意味からも2学期制の導入を考えてみてはどうか。

答 現在は3学期制をとっていますが教員の働き方改革や授業数の確保から、次年度から全ての小学校と1つの中学校で通知表の評価期間の2学期を導入の検討がされています。2学期制の導入については様々な観点から慎重な検討が必要と認識しています

質問 2

景観条例の適正な運用について

問 景観条例を制定した目的や、基本的な理念について。

答 景観法の施行に関し、必要事項を定めることにより、町民・事業者及び行政が協働して、誇りと愛着の持てる洞爺湖町の景観を守り、創り次世代に継承することを目的としています。

問 自然公園法と景観条例の基本的な違いについて

答 自然公園法は国が定める法律で洞爺湖管理計画区における自然公園法の行為許可申請に対する審査基準があります。景観条例は当町が定める条例であり、景観づくりのためのルールや景観法に基づく届出対象行為と景観形成基準を設定して届出勧告を基本とする緩やかな規制誘導です。

問 条例を制定した町として条例を遵守してもらう取り組みが必要と思うが。また、不測の事態への準備はできているのか。

答 良好な景観形成のため必要と認めた時は、事前協議の中で景観計画の制限や基準内になるよう町から助言や指導を行います。制限や基準を超える届出が提出され、町が必要と認めた場合は洞爺湖町景観審議会を開催し、意見を聞いた上で勧告や変更命令の手続きを行うことがあります。しかし、罰則はありません。

質問 3

有珠山の噴火警戒レベル運用の変更にに対する対応について

問 噴火レベルの判定基準が改定されエネルギー放出率を指標とするようになったが中身は。何が変わるのか。

答 膨大な観測情報を分析して、噴火の前兆として捉える指標ができたと考えています。指標が一定の数値を超え、これまでの判断指標と合わせて噴火警戒レベルの運用が行われます。噴火警戒の確かな度合いが上がることで、噴火に備えることができると思います。

問 指標が変わったが、避難での変換することがないのか。変わったことを町民に知らせしなくていいのか。

答 この指標を加えることでより迅速に避難することとなります。住民が避難を開始するタイミングが早まることと期待できることから、町の広報誌などで周知を図りたいと考えています。

住民の安全が 第一な町を目指して！

大久保 富士子 (公明党)



質問 1

洞爺湖町の 学校づくりについて

問 小中学校一貫教育に関するアンケートを実施されているが回答内容について伺う。

答 小中学校一貫教育を九割以上が導入に向けおおむね賛成の意向を示した結果となっています。

問 近い将来、9年間の一貫教育の導入に向け、当町として予定があれば伺う。

答 アンケートの最終結果を踏まえた上で、早急に小中一貫教育の方向性を示してまいります。

問 今後の異常気象による暑さ対策と児童生徒が安全・安心で学べるため町内全校の全教室へのクーラー設置に向けた町内の対応について伺う。

答 児童生徒の安心・安全な教育活動の展開のため、国の補助事業や起債などを活用し、計画的に各教室にエア

コンを設置していきます。

問 子どもが長く過ごす学校に和式トイレが設置していると、排せつを我慢するといった悪影響が出ると指摘されている。そして、保護者から学校のトイレを洋式化に改善の要望があります。そこで当町の状況と今後の対応について伺う。

答 当町の小中学校の洋式化の状況は、学校全体で58%と、北海道平均を下回っている状況です。今後の対応としては、これまでも修繕の際に洋式化に努めてまいりましたが、一日の多くの時間を過ごす学校であります。計画的にトイレの洋式化を進めてまいります。

質問 2

除雪対策について

問 今年度も大雪となった場合に道路の除雪が追いつかず作業の遅れが予想されますが、町としてどのような対応を考えているか伺う。

答 町の除排雪業務の受託業者以外への協力体制として、建設協会を通して要請すること、対応可能な業者が支援することになっていきます。

問 大雪の際に重機を持っていく住民などのボランティアによる協力体制が有効と思いますが、町の考えを伺う。

答 安全を保障できないことから、町としては実施することは考えていません。

問 町では、河川沿いの排雪に独自のルールなどの取決めを行っているか伺う。

答 洞爺湖町独自で定めているルールはない。「河川へ雪を排雪することはいけません。」「河川でください」と町のホームページや広報でお願いしています。

質問などは要約されています

議会だよりは、スペースの都合から質問・答弁の全文を掲載することができないため内容を要約して載せています。詳しくお知りになりたい方は、あぶた読書の家、洞爺総合センターに会議録が置いてありますので、どうぞご覧下さい。

また、インターネットで議会中継も行っていますので、洞爺湖町議会ホームページからご覧下さい。

お問い合わせ 議会事務局 TEL0142-74-3011



子どもの権利を活かして 住みよい町づくりを

小林 真奈美 (日本共産党)

質問 1

教育行政について

問 「子どもの権利条約」の理念を活かした教育行政について伺う。

答 今後も各学校において本条約の趣旨を踏まえた教育活動が一層充実するとともに、子どもたちに人権意識が深く浸透していくよう、様々な機会を通して指導や啓発等に務めてまいります。

問 洞爺湖町の子どもの権利に関する条例の制定について伺う。

答 これまでも各種計画に基づいて様々な施策を展開してきているところであり条例を制定するにあたっては必要性の有無を含めて調査研究してまいります。

問 町立学校における全普通教室へのエアコンの設置について伺う。

答 緊急措置として本年度中に保健室と多目的室等にエアコンを設置したいと考え今回の議案に補正予算議案と

して上程させていただいてます。今回の対応にとどまることなく、スピード感をもって国の補助事業等を活用しながら、計画的、段階的に各教室のエアコン設置を図ってまいります。設置までの期間におきましては、夏休み期間の延長、緊急的な臨時休業、また、場合によってはスポットクーラーなどといった部分も今年度のように併用しなければならぬ場合もあるかと思えます。子どもたちの生命、安全を考え即時の対応をしてまいります。

質問 2

飼い主のいない猫の 保護活動について

問 町の保護猫活動への避妊・去勢手術への支援について伺う。

答 猫に対しては登録制度がございません。飼い猫か野良猫かの判断がつきづらく現状では飼い猫は飼い主の全額負担で行っておりまして、

保護された猫に対して補助を行うことは公平性の観点から難しいと考えています。

問 譲渡促進への取組の支援について伺う。

答 町が譲渡会の後援をするなどにより施設利用料の減額など保護ボランティアの負担軽減を図れないか検討させていただきます。

問 地域猫活動の啓発、動物に対する正しい知識を養う取り組みについて伺う。

答 地域猫活動への啓発に関しては、猫に関する知識を理解していただくため、不定期ではありますが、回覧を行ってまいります。



質問 3

洞爺湖町社会福祉協議会職員の不祥事に関する報告について

問 町としてどのような要請を行い、どのような支援を行ってきたか、また再発防止に向け、どのような対応を考えているか伺う。

答 地方自治法に基づく特別監査を実施し、問題点や経緯、再発防止策などにつき確認をしたうえで、監査結果を公表し、明らかにしていくことが町民に対する信頼回復の一步として考えています。次年度以降、更なる事業の透明化、適正化が図られるよう各種事業予算に伴う経費を補助金として支出し、町への詳細な実績報告書を提出していただき、その内容を町が精査することによって、担当課で支出の現況をしっかりと確認できないかを検討して、進めていきたいと考えています。

ほこれるふるさとに

今 野 幸 子 (日本共産党)



質問 1

学校給食でSDGsを

問 給食に地産地消を推進するのは新鮮でおいしいものを提供するだけではなく、農業を守る意味があります。農林水産省が市場拡大を目指す有機農法では、CO2削減や水質保全、土地の肥沃化等の報告もあります。「洞爺湖町の北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業」ではどのようなことが行われていますか。

答 北海道の交付金を活用し財田米のおいしい炊き方等、地元の住民を対象に地産地消の推進活動を実施しています。

問 有機農法での米や野菜の給食への提供をできるところから始めてみませんか。

答 当町において地産地消の意義を充分に踏まえ、給食の提供に努めています。これからの洞爺湖町における学校給食を検討する際、一つの貴重な事例として参考とします。

す。



問 現在物価高騰分を補助し給食費を抑えています。その後も物価高騰は止まりません。物価高騰分をあげ、今の給食内容を維持できるように、また第2子・第3子の無償化を町として踏み出すべきではないでしょうか。

答 給食費の補助を次年度以降継続するかは、近隣市町の動向や、物価の上がり幅など総合的に勘案し、大原則である必要な栄養・量の維持をするなかで、検討します。

質問 2

町の公共施設について

問 建物に入ればトイレがあるのはごく当たり前ですが、膝が痛く、しゃがめない人にとっては、和式トイレでは用が足せません。それはその人にとってはトイレがないのと同じです。必要とするトイレがないことは、必要とする人の人権を損ない、差別にもつながります。入江・高砂貝塚館のバリアフリートイレに温水洗浄便座とオストメイト対応に改修するべきではないでしょうか。

答 冬期間開館することになり、需要も増えてきたことから温水洗浄便座の設置は必要と考え、他の公共施設の設置状況により設置します。オストメイトは、障害者の利便性の向上のため必要なものと考えます。簡易的な便器で洗浄できるようなシャワーをつけるところは可能かと思えますので、可能かどうか検討してまいります。

問 洞爺地区プールについて一昨年の一般質問の答弁では、循環装置など設備は正常、しかし水槽内シート・鉄骨などの修理が必要とのこと放置期間を延ばすと修理を難しくします。早い決定が必要だと思います。虻田地区プールも必要なメンテナンスは進めるとの答弁でしたがいまだ修復されていません。損傷が大きくなれば、直す費用も膨らんでいきます。子どもたちの最善を第一に進めるべきと考えます。対応を伺う。

答 洞爺地区の学校プールについては、現状での開設は難しく、今後のプールの在り方は、教育行政審議会に諮問しており、答申を踏まえ、町民の皆様との話し合いを通じて方向性を確立します。虻田地区のプールに対しましても体育協会から要望書があげられており、その内容は、幼児用のプールの塗装が剥がれている、非常に危険であるといった内容です。この塗装につきましては、新年度の予算で計上していく予定です。



空き家、空き店舗などの 対策は

千 葉 薫 (有志会)

質 問 1

空き家、空き店舗などの
現況と対策について

問 増え続けている空き家に
対して、どのような対処
がされているのか。

答 町の方で把握している管
理されていない空き家に
ついては、毎年目視により確
認し建物の損傷具合により、
所有者へ改善、解体等の対策
をお願いする通知をしていま
す。また空き家の活用促進
や移住・定住対策として、空
き家バンクによる物件の紹介
や古い住宅を取得した場合の
スマイル中古住宅支援事業、
住宅リフォーム事業など空き
家の利活用ができるような取
組を行なっています。

問 本年、空き家に関する法
律が改正されるようだが
町として今後どのように対応
していくのか。

答 機構改革により政策推進
課を新設して、移住・定
住に関する業務を移管の上、
空き家の利活用にも力を入れ

ていきます。空き家をお持ち
の方には、空き家を手放した
いという方や、できれば貸し
たいという方もおられること
から、様々な広告媒体等を活
用して、こうした方々の掘り
起こしもしたいと考えており
ます。また自治会にもお願い
して、空き家の情報をデータ
ベースとして取って、それを
利活用していきたいと思いま
す。

問 洞爺湖温泉には、現在使
用されていない危険で傷
んだホテルがある。観光地と
して対応しない建物だと思
うが、対処は出来ないのか。

答 温泉観光地として、この
のは相応しくないものと認識
をしています。民間の2つの
このホテルについては、固定
資産税もきちっとお支払い
ただいている状況であり、相
手先も分かっておりますので
一度まちづくりに関して直接
お話をして、廃ホテルの所有
者と粘り強く交渉して方向性
を見出していきたいと思っ
ております。

質 問 2

道の駅の運営について

問 当町では虻田地区には
「あぶた」洞爺地区には
「とうや湖」の道の駅がある
運営面ではどうなのか。

答 「あぶた」については、
令和4年度の売上げが1
億1千万程で入込数は（レジ
を通った客のカウント）10
万6千人、「とうや湖」につ
いては7千3百万程の売り上
げで、入込数は10万3千人
程となっています。コロナに
よる行動制限が徐々に緩和さ
れた時期でもあり、前年より
若干の伸びがありました。決
算状況については、物価の高
騰や人件費の上昇など、経費
面での大幅な増加がありまし
たが、両道の駅とも黒字決算
という報告を受けております

問 施設の状況及び今後に向
けての課題と方向性は。

答 「あぶた」については、
建築から約20年が経過し
ており、老朽化が著しいこと
から、建替えの要望が出され

ている状況ですが、用地等の
問題もあり難しい状況です。
また現在までにトイレの改修
食堂スペースの増築、駐車場
の改修、また「とうや湖」に
ついては、駐車場の拡張、食
堂スペースの拡張など実施し
てきております。課題につき
ましては、両駅に係る共通課
題として、人員不足と出品者
数の減少が上げられている状
況です。こうしたことから、
地域おこし協力隊を活用する
ことで課題解決出来ないか検
討しています。また事業主体
の各企業組合に、できれば専
従の職員を育てていただきな
がら時代に合った経営をして
いただきたいと思います。町
としても今後、道の駅と協議
しながら、町としてできる所
をもう一度確認しながら支援
してまいります。

みんなで増やそう 東京あぶた・とうや湖会員ふるさと納税

石川 諭



質問 1

太陽光発電の安全性について

問 洞爺湖町における太陽光発電施設はどれくらいあるのか、何箇所か伺う。

答 経済産業省では、再生可能エネルギー電気の促進に関する特別措置に基づき、発電事業計画の情報を公表しております。その公表結果で当町に設置している太陽光発電施設を把握しています。太陽光発電施設の箇所数は大規模太陽光施設で、民間事業者3社、また低圧の太陽光発電施設は、民間・個人設置者合わせて11件、合計で14件設置してあります。その他、各家庭で設置されている10キロワット未満の太陽光発電施設については、現状で把握することができない状況です。

問 町内14箇所の地区別設置状況は。

答 一覧表では、洞爺地区で4件、月浦地区1件、残り9件が虻田地区という状況

になっています。

問 太陽光発電施設の管理体制はどうなっているのか

答 太陽光発電施設の維持管理は設置者については、資源エネルギー庁が策定している事業計画策定ガイドラインにより、事業計画段階において保守点検、維持管理計画を作成することとなっております。各設置者の責任の下適正に管理されることとなっております。

問 町に責任はなく、施設を造った会社が全部責任を持つとのことですが、台風や強風で飛んでしまった場合、真先に苦情や通報が入るのは役場だと考えられるのか、町はどの様に対応するのか伺う。

答 自然災害により太陽光パネルが敷地外に出してしまうことや、施設が水没してしまふことなど、住民に危険が及ぶことが想定されます。太陽光パネルは光を受けることで発電する為、太陽光パネルに触れただけでも感電する危険性があるので、水害などの場合にはその危険性が高まることも想定されます。太陽光

施設に被害が発生した場合には、設置者に連絡して安全対策を講じさせることとなりますが、災害の初期段階には消防と町が連携して隔離措置などの対応が必要です。

問 森林を伐採して、大規模な太陽光パネルを設置することは、二酸化炭素を吸う樹木を切ってしまうので環境破壊につながり問題になる。また洞爺湖町は観光地なので、太陽光パネルに関しての景観条例を伺う。

答 町では2050年ゼロカーボン実現を目指しており、洞爺湖有珠山ジオパークや入江・高砂貝塚など、世界に誇る自然環境を有しており、これら町の宝を次世代に引き継ぐことができるよう環境問題にも配慮した、町づくりを進めてきました。こうしたことから町は、大規模な伐採をして太陽光パネルを設置する考えはありません。また太陽光発電施設について洞爺湖町景観条例に、届出対象区域及び景観形成基準を設定しています。入江・高砂貝塚周辺区

質問 2

ふるさと納税の拡大について

問 11月に東京あぶた・とうや湖会が開催された。会員が年々減少しており、会がなくなってしまうとのこと。ふるさと納税拡大のため会員を増やす方策はないか伺う。

答 東京あぶた・とうや湖会は昭和51年に設立。現在140名の会員がおり、今年の参加者は42名の参加がありました。町としてはホームページの活用を通して会員増を考えていきます。そのほか転出手続きをされている方や成人式で、東京あぶた・とうや湖会のパンフレット配布。またとうや湖町ふるさと応援団では674名の登録があり、登録者は町外の方で、ふるさと納税についてもPRします。



住民の生活を第1に優先する 行政運営を！

板垣正人（公明党）

質問 1

物価高騰対策について

問 国が予定している住民税非課税世帯に交付予定（7万円）を年内に支給するべきと思うが、町の考えは。

答 町としても早期に対象者へ通知して給付を行っていきたくて考えていますが、年内の給付になりますと、いろいろな事務手続きがありま

問 重点支援地方交付金の活用で、町民及び事業者支援を早急に行うべきと思うが町の考えは。

答 生活支援対策事業・住民税非課税世帯臨時給付金事業

経済対策事業

・公共交通事業者特別支援事業

・漁業用燃油高騰対策支援事業

・漁業用資材価格高騰対策支援事業

・貨物自動車運送事業者燃油高騰対策支援事業

・洞爺湖町プレミアム飲食券発行補助事業

・畜産農業者飼料高騰対策事業

・農業用燃油高騰対策事業

介護、障害者福祉事業所支援事業で総額1億7715万5000円です。

質問 2

熱中症対策について

問 公共施設の空調（エアコン等）設置について町の考えを伺う。

答 小中学校に関しては、業者の関係もありますが、業

令和7年度には全教室に設置していきたいと考えています。また、国の補助金と過疎債等も使って町の持ち出しが少なくすむように、時間軸を決めて進めさせていこうと思っています。

問 公営住宅の入居者がエアコンを設置する場合の町

の考えを伺う。

答 これまで町としては、エアコンの設置については許可できないと回答しておりましたが、今後におきましては町営住宅模様替・増築承認申請書を提出していただき、エアコンの設置を許可したいと考えています。また、エアコンを設置した壁面の修繕範囲もできる限り局部的な修繕にしたいと考えています。今後早い時期に入居者に周知していきます。

問 熱中症対策について小中学校の基準を数値化して町全体で共有するべきと思うが町の考えは。

答 町として各学校で共通した基準を校長会等とも相談しながら定めていき、各学校の危機管理マニュアルの見直しと取扱いの徹底をお願いしていきます。



質問 3

ふるさと納税について

問 ふるさと納税の現状と課題について伺う。

答 11月末現在の実績としては、納税額約1億4100万円。対前年比約4860万円の増です。課題としては返礼品の確保・発信力の強化・納税拡大に伴う事務作業の見直し等です。また、使い道に対しても、今後寄付金の使途の効果を明確に伝えていきます。

“ホタテ貝消費促進策 すみやかに”

越前谷 邦 夫 (令和会)



質問 1

令和6年度予算編成と
洞爺湖町成長戦略について

問 第2期洞爺湖町まちづく
り総合計画を基本とした
令和6年度予算編成は、

答 各課から予算要求が上が
っている段階でヒアリン
グは実施しておりません。一
般会計の令和6年度の予算規
模は70億円強と考えておりま
す。

問 北海道・国の行政の流れ
を重要視しながらの予算
編成になると思う。国土交通
省北海道局は現在策定中の新
しい北海道総合開発計画の開
始時期を2年前倒し、202
4年度から実施する。今まで
食と観光が開発計画の根幹で
あったが新たに脱炭素と次世
代の半導体製造基盤確立が開
発計画のようである。洞爺湖
町の予算編成は各団体等から
の要望もいだけに膨張政策
になる気がしてならない。膨
張政策は財政的にも無理がで
る。しわ寄せ、行き過ぎや勇

み足も出てくる。5年先10年
先の洞爺湖町の在り方を明確
にしながら一歩、二歩前進す
るような町政執行願いたい。
ハード面における事業の見込
み額は。

答 各課からのヒアリングの
段階ですが普通建設事業
で役場本庁舎の長寿命化・町
営住宅の長寿命化・西いぶり
広域連合の中間処理施設の負
担金・西胆振行政事務組合の
指令台の更新・新保育所の実
施設計業務等約13億円見込
んでおります。

問 令和4年度末の地方債実
績残高と令和6年度の見
込み額は。

答 令和4年度末実績額は8
4億1436万2000
円。令和6年度は86億45
00万円の見込み額で増えて
いくような状況になっており
ます。

問 公債費の元金償還金令和
4年度末実績と令和6年
度見込み額は。

答 令和4年度末実績額は9
億3100万円、令和6
年度見込み額は9億600万

円と緩やかに減少すると見込
んでおります。

問 令和7年度で合併特例債
は発行停止となる。合併
による許可された額は幾らで
残り可能額は。

答 合併特例債は建設事業の
発行可能額で38億80
40万円が洞爺湖町に許可さ
れた額で発行額は31億32
40万円、令和7年度まで発行できる額
となっております。

問 洞爺湖町の令和6年度普
通交付税・税収見込額は

答 令和4年度約37億円、5
年度約35億円、令和6年
度約34億円の交付見込額、令
和6年度税収見込み額は町民
税・固定資産税・軽自動車税
・たばこ税・入湯税合わせて
約12億600万円です。

問 給食センターの建設計画
の見直しと令和6年度か
らの調理部門の民間委託を先
送りした要因と将来の給食セ
ンターの在り方を明確にすべ
きと思うが。

答 給食センターの統合に向
け協議して参りましたが

少し立ち止まって検討したい
調理部門の民間委託について
も、現状の体制を継続して給
食センターの統合についても
広域的な視点を持つというこ
とが十分必要と考え、協議の
参考にさせていただきます。

質問 2

ホタテ養殖漁業振興策
について

問 東京電力福島第一原発の
処理水放出に伴う、中国
の日本産水産物禁輸措置を受
け、ホタテ輸出の生産地であ
る北海道内への影響が続いて
いる。洞爺湖町の漁業者、加
工業者も大きな痛手となって
いる。実行性のある対策が求
められるがその策は。

答 洞爺湖町内で地元産ホタ
テが買える仕組みづくり
町内単独では限界があります
ので漁業者・漁協・近隣市
町・三位一体となって取り組
んで参ります。

常任委員会活動レポート

総務常任委員会

●調査事項

小学校・中学校の現況について

●調査日

11月15日(水)・16日(木)・17日(金)

●調査結果

次の事項について調査を行いました。

① 不登校の状況は。(事案があれば、その原因と対策及び近年の状況)

② いじめの防止対策と現況は。(発生事案及び近年の状況)

③ 本年の夏は猛暑でしたがどのような対応をされましたか。また、今後に向けて要望したいことはありますか。

④ コロナやその他の感染症により、学級閉鎖等が行われましたか。また、それに

よる学習への影響は。

⑤ 学校図書整備状況と児童・生徒の利用状況は。

⑥ 教職員の働き方がクロージアップされています。どのような問題があり、どのように解決すべきと考えますか。

各学校では、様々な課題がある中、教職員が一体となり課題解決に向けしっかり取り組んでいる。

不登校においては、特別支援学級における対応の強化や不登校生徒個々への対応のあり方なども今後検証する必要があると思われる。暑さ対策については、学校のみでの取組には限界があることから、全教室へのエアコンを設置し子供が快適に学習できる環境整備を進めることが重要。学校図書では、次年度に教科書が改訂になることから参考図

書の整備が不可欠である。教職員の働き方改革については全て改善されているわけではない、各学校で解決に向け取り組んでいる。また、洞爺湖温泉小学校における、ポロモイスタジアムの利用者による路上駐車解消。学校グラウンドの整備支援が必須となっている。

経済常任委員会

●調査事項1

NPO法人洞爺まちづくり観光協会の現況と課題について

●調査日

10月24日(火)

●調査結果

NPO法人洞爺まちづくり観光協会の会員は、82名となっている。現在、協会の事務局に町の地域おこし協力隊員が派遣されているところではあるが、職員の高齢化などにより人材不足が懸念されている。また、販売事業においては、インターネット配信を活用した集客を行うなど一定の効果を得ているが、課題もある。

る。

とうや水の駅は、観光シーズンには多くの利用客があり車輦による来客が主となっている。駐車場、トイレや休憩設備などの整備が必要となっている。

協会においては、洞爺地区の観光振興に係る様々な事業に取り組んでおり、事業を推進して行くため鋭意努力を続けており、町による積極的な支援助成の継続が必要である。また、洞爺湖における非動力船の利用に対して、一貫性のあるルールの早急な策定が求められている。

●調査事項2

J Aとうや湖の現況と課題について

●調査日

10月24日(火)

●調査結果

令和4年のJ Aとうや湖の全体販売高における洞爺湖町の販売高は、24億2,861万円であった。令和5年1月現在の洞爺湖町における組合員数は116戸となっている。

令和5年における農作物の生育及び収穫状況についてはじゃがいもが品目によっては平年並み、根菜類は長芋を除き殆どが不良となっている。水稲は平年並み、小麦は天候に恵まれ前年より良質となり豆類は高温により収量が減少となった、畜産に関しては、牛肉の単価はインバウンドの減による消費の減少により下降、豚肉の価格は若干高値となっており生乳生産量は、一部の加工製品のだぶつきなどにより減産となった。

全国の種いもの供給をほぼ北海道が担っているが、近年の気候変動などの影響により供給不足に陥ることが懸念されている。管内においても、必要な数量の確保が難しくなっており、令和4年4月に「とうや湖農協種子馬鈴薯生産組合」を設立、安定生産及び優良種の維持向上と馬鈴薯生産における地域への安定に寄与するため活動している。令和5年度から国費を活用した事業を推進するが、町の積極的な支援が必要である。

議会の動き

11 月

- 13日 胆振西部市町議会議長懇話会
15日～17日 総務常任委員会（P13参照）
18日 令和5年度東京あぶた・とうや湖会
21日 経済常任委員会
22日 会派代表者会議
24日 総務常任委員会
27日 例月出納検査・随時監査
29日～12月1日 第67回町村議会議長全国大会及び胆振管内町村議会議長会行政視察

12 月

- 4日 議会運営委員会
11日～13日 令和5年12月会議（P2参照）
11日 議会広報常任委員会
22日 令和5年第2回西胆振行政事務組合議会臨時会
25日 例月出納検査
26日 胆振管内町村議会議長会第2回定期総会

1 月

- 12日 総務常任委員会
経済常任委員会
16日 議会広報常任委員会
18日 議会運営委員会
19日 令和6年1月会議（P2参照）
全員協議会
23日 議会広報常任委員会
29日 例月出納検査
30日 胆振管内町村議会議員研修会

通年会期制

議会は、一年間を会期とする通年会期制となっています。

このことにより、常に議会が活動できる状態となり、議会を開く日（定例日）はあらかじめ決まっていますが、必要なときはいつでも議会を再開することができます。本議会の多様な運営や災害時の緊急対応、委員会活動の活性化など、議会の主導的な活動に取り組んでいます。

—今年12月までの定例日—

- ・令和6年3月会議
令和6年3月5日から開催予定です。
- ・令和6年6月会議
令和6年6月17日から開催予定です。
- ・令和6年9月会議
令和6年9月10日から開催予定です。
- ・令和6年12月会議
令和6年12月10日から開催予定です。

編集後記

令和5年は地球沸騰と言われる異常猛暑、各地でゲリラ豪雨等で土砂災害が発生し、自然災害や戦争で犠牲になられた方々には心からお悔やみ、お見舞い申し上げます。

資源不足で燃油、原材料等が高騰し、輸入大国日本は食料危機に陥ることも懸念されている。

令和5年5月8日、3年余り猛威を振るっていた新型コロナウイルス感染症は2類からインフルエンザ並みの5類に引き下げられ、以後、人の移動、交流が見直され、各種のイベントが復活し、洞爺湖温泉街にも賑わいが戻ってきた感があります。とは言え、新型コロナウイルス感染症は完全に収束していません。

油断せず新型コロナウイルス感染症対策を遵守しましょう。

洞爺湖町は現在【子どもから高齢者まで誰もが幸せを感じる町づくり】を進めています。

令和6年は2024年問題もあります、皆様にとって安寧な年であります様、ご祈念申し上げます。

（大屋 治）